

⚠ 注意事項

- フィブロックの用途、使用条件の詳細については各認定書・評定書、カタログをご確認ください。
- 区画貫通措置以外の目的には使用しないでください。
- フィブロックの幅は規定の寸法となっていますので、幅を変えて使用しないでください。
- 壁用、床用の条件があるものは、用途に合わせてご使用ください。
- フィブロックの帯は壁面及び床スラブ面より規程の長さ以下出すようにしてください。
- 区画貫通部以外の配管露出部に使用しても効力を発揮しません。
- 防水機能はありません。必要な場合には別途、防水処理を行ってください。
- 必要に応じて、手袋や保護めがね等適切な保護具を使用してください。
- 水濡れや直射日光、高温下は避けて運搬・保管してください。
- 紫外線や水、薬品等のかかるところ、高温多湿の環境下、結露する場所では使用しないでください。
- 製品に局所的な荷重が加わると、潰れなどの変形や破れの恐れがあるため、保管や輸送の際はご注意ください。
- 残材や使用後の廃材の処分は、法令及び地方自治体の条例に従ってください。
- 防火区画貫通について不明な点は、所轄の行政機関へご確認ください。

フィブロックの標準施工法等、詳細については認定書・評定書および取扱説明書やフィブロックカタログをご参照ください。



認定書・評定書・取扱説明書はこちらから <https://www.fiblock.com/results/>

認定シールおよび評定マークのご案内

弊社では、防火区画貫通部の措置にフィブロック区画貫通措置部材をご使用いただいた場合、国土交通大臣認定を取得していることを示す「認定シール」をご用意しております。また、特定共同住宅等にご使用の場合、(一財)日本消防設備安全センター発行の「評定マーク」または「評定一括プレート」の貼付が必要です。ご請求方法は、1現場ごとに弊社フィブロックHPの「認定シール・評定マーク/評定一括プレート申請」よりご請求願います。申請内容を確認の上、ご請求枚数の「認定シール、評定マーク等」を送付させていただきます。



WEB申請はこちらから https://anet.sekisui.co.jp/fp_doc_dl/webshinsei.aspx

ケーブル区画貫通用途のフィブロック製品はこちらをご参照ください。



製品についてはこちらから <https://www.sekisui.co.jp/fp/>

製造元 **積水化学工業株式会社**
耐火材料事業部
<https://www.sekisui.co.jp/fp/>



販売元 **積水マテリアルソリューションズ株式会社**
耐火資材営業所
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-3-6
TEL 03(6744)5806 FAX 03(6744)5807
●お問い合わせは上記連絡先をお願いいたします。

*印刷のため製品の色調は実物とは異なる場合があります。
*改良のため予告なく仕様変更する場合があります。

不許転載

2002年 6月 初 版
2025年 4月 改訂30版

熱膨張耐火材フィブロック
カタログ(給排水用)

積水化学工業株式会社
耐火材料事業部

ツールコード

No. 05145

2025.4. 0TH TX

SEKISUI

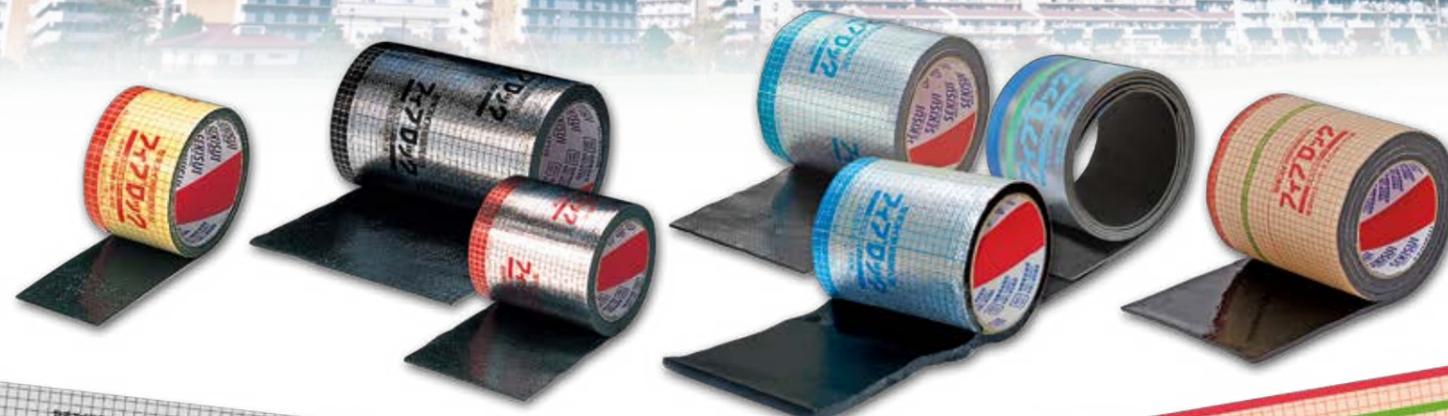
2025.4 改訂30版

熱膨張耐火材

区画貫通用テープ

ファイブロック®

国土交通大臣認定品
(一財)日本消防設備安全センター評定品



**火災発生時に膨張、
貫通部に高断熱層を形成する熱膨張テープ**



ファイブロック区画貫通用テープは管に巻き付けるだけの簡単な作業でスピーディに施工できる製品です。

施工例



耐火性能を発揮するメカニズム



特長

- 管に巻くだけで防火区画処理ができます。
- 用途に合わせて各種配管・各サイズに対応します。
- 国土交通大臣認定および(一財)日本消防設備安全センター認定を取得しています。

ファイブロックの標準施工法等、詳細については認定書・評定書および取扱説明書やファイブロックカタログをご参照ください。

認定書・評定書・取扱説明書はエスロンタイムズ (<https://www.eslontimes.com/system/jump/250/>) でご確認いただけます。



ラインナップ

品名	用途	品番	厚さ	幅	巻長さ	入数	
ファイブロックさや管用	壁・床共用	TBBZ001	0.66mm	60mm	2.0m	12巻/ケース	
ファイブロック塩ビ管用	壁用	TBCZ002	2.25mm	110mm	1.5m	6巻/ケース	
	床用	TBCZ001	2.25mm	160mm	1.5m	6巻/ケース	
ファイブロックエスロハイパーAW用	壁・床共用	呼び径 20~75用	FIBAW	2.25mm	110mm	1.5m	6巻/ケース
		呼び径 100以下用	FIBAW1H	6.09mm	110mm	0.42m	6巻/ケース
		呼び径 200以下用	FIBCH2H	2.50mm	90mm	1.0m (2枚)	10セット/ケース
ファイブロック保温材付スーパーエスロメタックス用	壁・床共用	FIB-FC	4.24mm	120mm	1.3m	6巻/ケース	

ファイブロック さや管用

壁・床共通で使用できます。

さや管の場合

呼び径	φ22	φ25	φ28	φ30	φ36
箇所数	20箇所	18箇所	17箇所	16箇所	14箇所

コルゲートウォームの場合

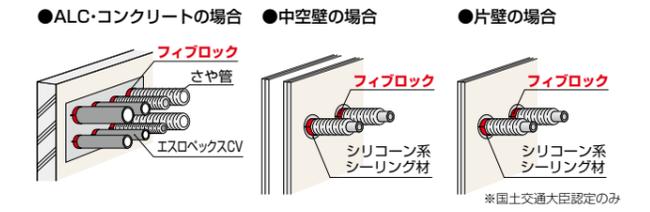
呼び径	φ10	φ13	φ16	φ20
箇所数	20箇所	18箇所	16箇所	14箇所

エスロベックスCV管の場合

呼び径	φ10	φ13	φ16	φ20
箇所数	26箇所	26箇所	22箇所	18箇所

施工の詳細につきましてはP3 施工手順を、適用配管種につきましてはP5 認定・評定一覧をご参照ください。

【施工例】



ファイブロック 塩ビ管用

壁用・床用、用途に合わせて使用できます。

塩ビ管の場合

呼び径	φ13	φ16	φ20	φ25	φ30	φ40	φ50	φ65	φ75	φ100	φ125	φ150
箇所数	22	18	16	13	11	9	7	6	5	4	3	2

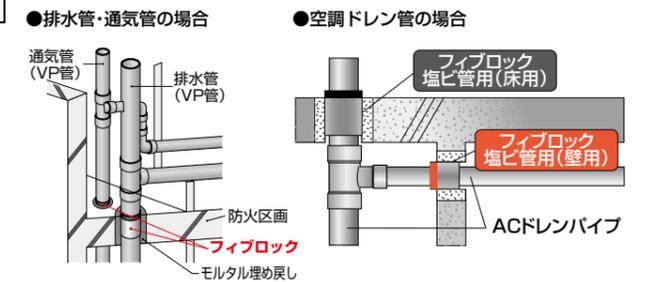
ACドレンパイプの場合

呼び径	φ20	φ25	φ30	φ40	φ50	φ65
箇所数	13	11	9	7	6	5

※ACドレンパイプの区画貫通には、ファイブロック塩ビ管用をご使用ください。

施工の詳細につきましてはP7 施工手順を、適用配管種につきましてはP8 認定・評定一覧をご参照ください。

【施工例】



ファイブロック 壁・床共通で使用できます。

エスロハイパーAW用 (雨水ハイパーRD対応品)

クウチョウハイパーCHには呼び径200以下用をご使用ください。

●呼び径20~75用

呼び径	φ20	φ25	φ30	φ40	φ50	φ65	φ75
箇所数	15箇所	12箇所	10箇所	9箇所	7箇所	6箇所	5箇所

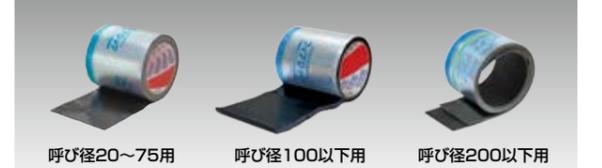
●呼び径100以下用

呼び径	φ100	呼び径 φ125	φ150	φ200
箇所数	1箇所	箇所数 2箇所	2箇所	2箇所

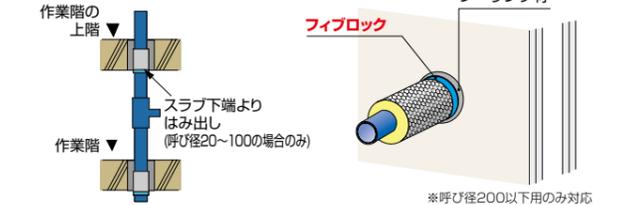
※ファイブロック エスロハイパーAW用は、呼び径に対応したものをご使用ください。

施工の詳細につきましてはP9 施工手順を、適用配管種につきましてはP12、P15 認定・評定一覧をご参照ください。

壁・床共用



【施工例】



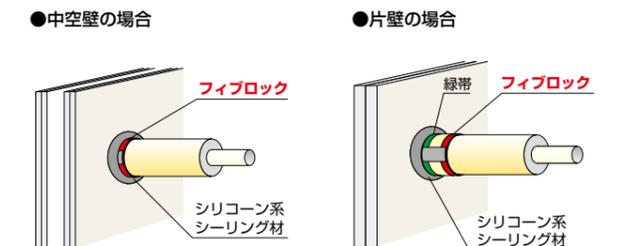
ファイブロック 壁・床共通で使用できます。

保温材付スーパーエスロメタックス用

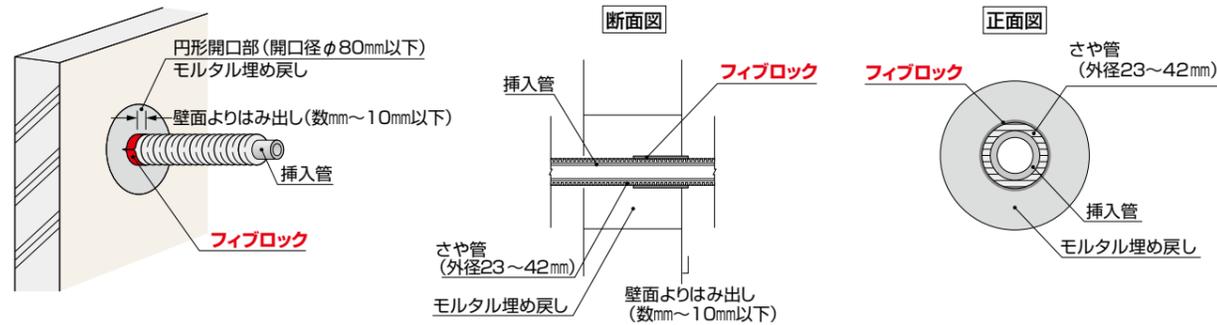
呼び径	φ10	φ13	φ16	φ20	φ25	φ32	φ40	φ50	
箇所数	保温材付10mm	10	10	9	8	7	6	5	4
	保温材付20mm	7	6	6	5	5	4	4	3
	保温材付25mm	—	5	5	5	4	4	3	3
	保温材付30mm	—	—	—	4	4	3	3	3

施工の詳細につきましてはP16 施工手順を、適用配管種につきましてはP18 認定・評定一覧をご参照ください。

【施工例】



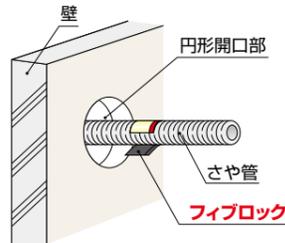
標準施工図



ALC・コンクリート施工方法(円形開口部の例)

1 準備

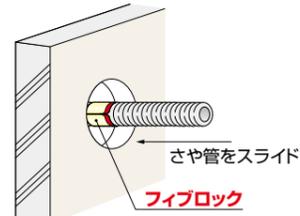
さや管が貫通する位置に開口部を設置します。



2 施工

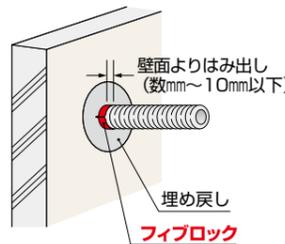
管の区画貫通する部分をファイブロックで一周巻いてください。

※設置が確認できるように壁面からファイブロックを数mm~10mm以下出して施工してください。



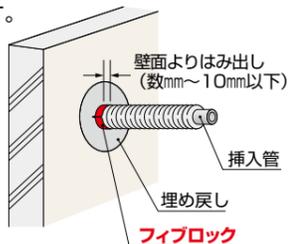
3 開口部の埋め戻し

管を所定の位置にスライドさせ開口部をモルタルで埋め戻します。



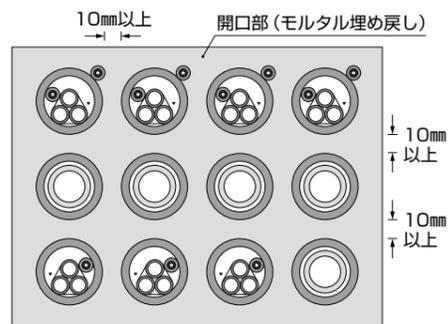
4 挿入

挿入管をさや管に挿入します。



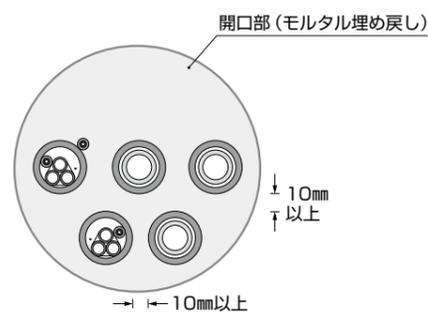
ALC・コンクリート施工完成図(複数本施工の例)

角穴工法



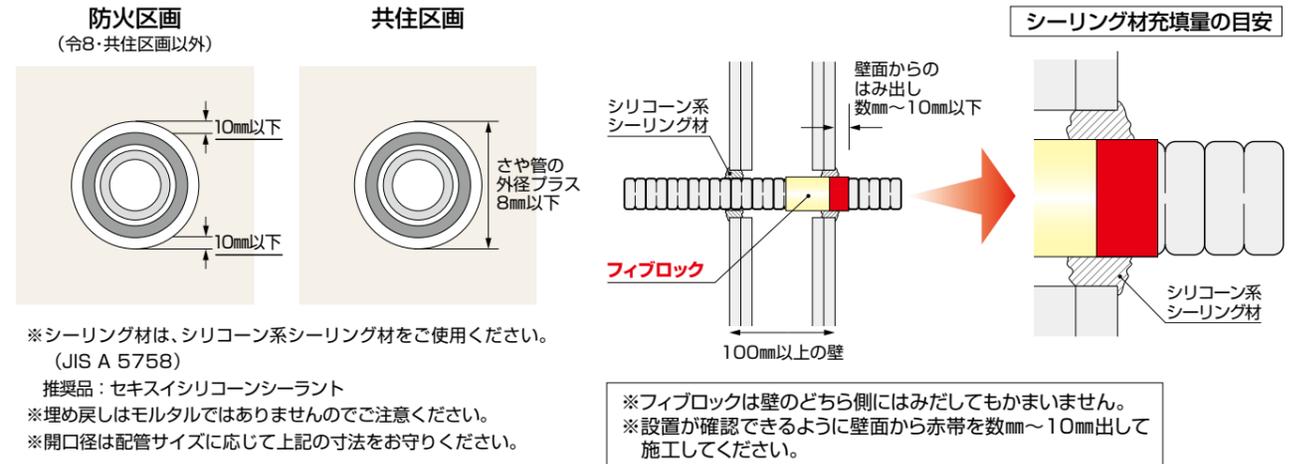
※管と管の間隔を10mm以上あけて配管してください。
※貫通する管の詳細は認定書、評定書をご確認ください。

丸穴工法



※管と管の間隔を10mm以上あけて配管してください。
※貫通する管の詳細は認定書、評定書をご確認ください。

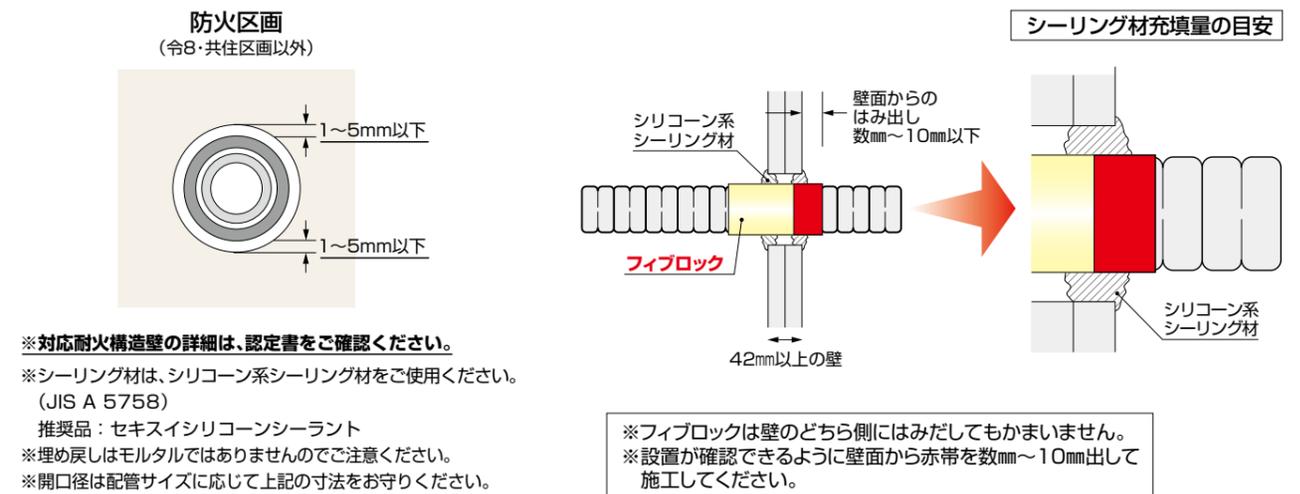
中空壁施工図



※ファイブロックは壁のどちら側にはみだしてもかまいません。
※設置が確認できるように壁面から赤帯を数mm~10mm出して施工してください。

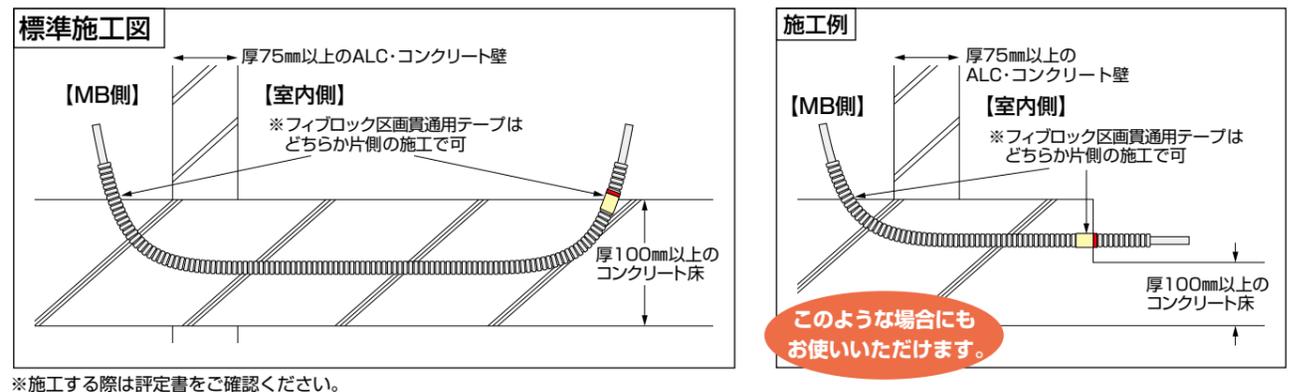
片壁施工図

※国土交通大臣認定のみ



※ファイブロックは壁のどちら側にはみだしてもかまいません。
※設置が確認できるように壁面から赤帯を数mm~10mm出して施工してください。

スラブ埋設(サブウェイ)工法



※施工の際は評定書をご確認ください。

ファイブロック さや管用 [認定・評定一覧]

壁 ●用途/給水管、給湯管、排水管、冷温水管、さや管、ケーブル、ガス さや管の使用最大呼び径は36Aです。

壁 / 丸 穴、矩 形

ALC・コンクリート(厚75mm以上)

貫通配管種		使用最大配管	貫通開口寸法	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号 共住区画
さや管 挿入管	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787) (エスロベックスなど)	20A (3本以下)	矩形: 横350mm以下 × 縦200mm以下	PS060WL-0623	KK24-016号
	ポリブテン管(JIS K 6778, 6792)	20A			
	軟質塩化ビニルライニング ステンレス鋼フレキシブル管	φ32.3mm	円形: φ200mm以下		

壁 / 丸 穴

ALC・コンクリート(厚75mm以上)

貫通配管種		使用最大配管	開口寸法 (参考ポイド径)	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号 共住区画
さや管 挿入管	被覆付き架橋ポリエチレン管 (エスロベックスCV)	20A	φ80mm以下 (75以下)	PS060WL-0587	KK24-005号
	金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)	25A			
	軟質塩化ビニルライニング ステンレス鋼フレキシブル管	φ32.3mm	φ60mm以下	PS060WL-0622	KK24-015号
	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787)(+ケーブル★)	13A(2本以下)	φ80mm以下 (75以下)	PS060WL-0066	KK19-133号
架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787) (エスロベックスなど)	20A (2本以下)				
ポリブテン管(JIS K 6778, 6792)	20A				
直管	コルゲート被覆付き架橋ポリエチレン管(コルゲートウォーム) ^{※1}	20A	φ80mm以下 (75以下)	PS060WL-0066	KK19-133号
	被覆付き架橋ポリエチレン管(エスロベックスCV)	20A			
	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787)	25A (2本以下)			
	ポリブテン管(JIS K 6778, 6792)	20A			
	金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)	20A			
保温付架橋ポリエチレン管(保温厚10mm以下)	20A	PS060WL-0192			
保温付ポリブテン管(保温厚10mm以下)	20A	PS060WL-0207			

★印のケーブル:外径6mm以下 3芯以下(導体総断面積0.9mm²以下) ※1.コルゲート被覆を通じての内管の更新はできません。

コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種		使用最大配管 呼び径等	開口寸法 (参考ポイド径)	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号	
					共住区画	令8区画
さや管 挿入管	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787)	25A	φ80mm以下 (75以下)	PS060WL-0065	KK19-133号	RK19-035号
	ポリブテン管(JIS K 6778, 6792)					
	コルゲート被覆付き架橋ポリエチレン管(コルゲートウォーム) ^{※1}					
直管	ケーブル(JIS C 3342, 3605)	外径28mm以下 4芯以下 (導体総断面積152mm ² 以下)	φ80mm以下 (75以下)	PS060WL-0003	KK19-134号	/
	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787)	20A				
	被覆付架橋ポリエチレン管(エスロベックスCV)					
	金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)					
	ポリブテン管(JIS K 6778, 6792)					
ケーブル(JIS C 3342, 3605)	外径28mm以下 4芯以下 (導体総断面積152mm ² 以下)	PS060WL-0006	KK19-134号	/		

※1.コルゲート被覆を通じての内管の更新はできません。

中空壁 / 丸 穴

中空壁(厚100mm以上)

貫通配管種		使用最大配管 呼び径	貫通開口寸法 (管外径+20mm以下)	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号 共住区画
さや管(一本)	架橋ポリエチレン管2本(+ケーブル★)	13A(2本)	φ50mm以下	PS060WL-1204	KK19-102号
	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787)	20A			
	ポリブテン管(JIS K 6778, 6792)	25A			
	コルゲート被覆付き架橋ポリエチレン管(コルゲートウォーム) ^{※1}	20A			
直管	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787)	20A	φ40mm以下	PS060WL-1204	/
	被覆付架橋ポリエチレン管(エスロベックスCV)	20A			
	金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)	25A			
	硬質ポリ塩化ビニル管(VP管)(JIS K 6741, 6742)	30A	φ50mm以下		
	ポリブテン管(JIS K 6778, 6792)				

★印のケーブル:外径6mm以下 3芯以下(導体総断面積0.9mm²以下) ※1.コルゲート被覆を通じての内管の更新はできません。

◎KK19-102号共住区画では、JIS A 6901 GB-Fに規定する強化せっこうボードを使用します。 ◎貫通部埋め戻しには、積水フーラー社製セキスイシリコンシーラントを推奨いたします。

壁 ●用途/給水管、給湯管、排水管、冷温水管、さや管、ケーブル さや管の使用最大呼び径は36Aです。

片壁 / 丸 穴

片壁(厚42mm以上)

貫通配管種		使用最大配管 呼び径	貫通開口寸法 (管外径+10mm以下)	国土交通大臣 認定番号
さや管(一本)	架橋ポリエチレン管2本(+ケーブル★)	13A(2本)	φ52mm以下	PS060WL-0470-1
	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787)	20A		
	ポリブテン管(JIS K 6778, 6792)	25A		
	コルゲート被覆付き架橋ポリエチレン管(コルゲートウォーム) ^{※1}	20A		
直管	被覆材付架橋ポリエチレン管(エスロベックスCV)	30A	φ52mm以下	PS060WL-0470-1
	ポリブテン管(JIS K 6778, 6792)			
	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787)			

★印のケーブル:導体断面積0.75mm²以下(1本あたり)、絶縁体0.6mm以下、シース1.0mm以下

※1.コルゲート被覆を通じての内管の更新はできません。

◎貫通部埋め戻しには、積水フーラー社製セキスイシリコンシーラントを推奨します。

床 ●用途/給水管、給湯管、排水管、冷温水管、さや管、ケーブル さや管の使用最大呼び径は36Aです。

ALC・コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種		使用最大配管 呼び径	開口寸法 (参考ポイド径)	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター 性能評定番号 共住区画
さや管 挿入管	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787)	25A	φ80mm以下 (75以下)	PS060FL-0073 ^{※2}	KK19-099号
	被覆付架橋ポリエチレン管(エスロベックスCV)	20A			
	金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)	25A			
直管	コルゲート被覆付き架橋ポリエチレン管(コルゲートウォーム) ^{※1}	20A	φ80mm以下 (75以下)	PS060FL-0206 ^{※2}	KK19-106号
	被覆付架橋ポリエチレン管(エスロベックスCV)				
	保温付ポリブテン管(保温材厚10mm以下)	20A			
	金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)	25A			
PS060FL-1085	φ160mm以下 (150以下)	PS060FL-1085	/		

※1.コルゲート被覆を通じての内管の更新はできません。

※2.本認定ではALC厚100mm以上、コンクリート厚70mm以上で使用可能です。

コンクリート(厚150mm以上)

貫通配管種		使用最大配管 呼び径	開口寸法 (参考ポイド径)	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター 性能評定番号	
					共住区画	令8区画
さや管 挿入管	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787)	25A	φ80mm以下 (75以下)	PS060FL-0005	KK19-135号	RK19-036号
	ポリブテン管(JIS K 6778, 6792)					
	コルゲート被覆付き架橋ポリエチレン管(コルゲートウォーム) ^{※1}					
	ケーブル(JIS C 3342, 3605)					
直管	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787)	20A	φ80mm以下 (75以下)	PS060FL-0009	KK19-135号	RK19-036号
	被覆付架橋ポリエチレン管(エスロベックスCV)					
	ポリブテン管(JIS K 6778, 6792)	30A				
	ケーブル(JIS C 3342, 3605)	外径28mm以下 4芯以下 (導体総断面積152mm ² 以下)				
	金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)	20A				
PS060FL-1085	25A	φ160mm以下 (150以下)	PS060FL-1085	/		

※1.コルゲート被覆を通じての内管の更新はできません。

スラブ埋設[サブウェイ]工法 ●用途/給水管、給湯管、排水管、冷温水管、さや管、ケーブル、ガス さや管の使用最大呼び径は36Aです。

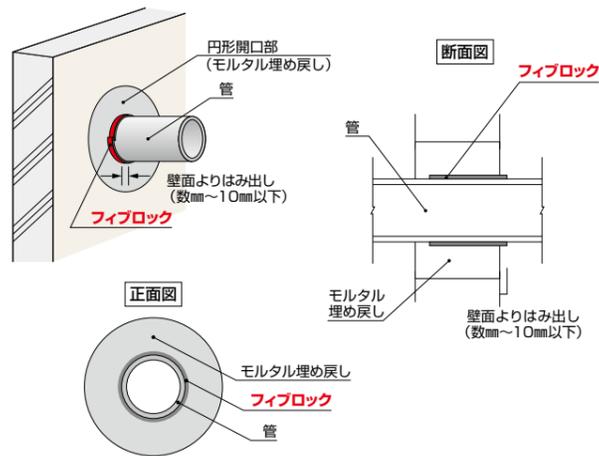
ALC・コンクリート壁(厚75mm以上)、コンクリート床(厚100mm以上)

貫通配管種		使用最大配管 呼び径	最大貫通開口寸法 (さや管外径)	(一財)日本消防設備安全センター 性能評定番号 共住区画
さや管 挿入管	架橋ポリエチレン管2本(+ケーブル★)	13A(2本)	42mm以下	KK19-101号
	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787)(+ケーブル★)	20A		
	ポリブテン管(JIS K 6778, 6792)(+ケーブル★)			
	金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)(+ケーブル★)			
	架橋ポリエチレン管3本(+ケーブル★)			
軟質塩化ビニルライニングステンレス鋼フレキシブル管 (表面材:軟質ポリ塩化ビニルコンパウンド JIS K 6723) (内 管:冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯 JIS K 4305)	25A	47mm以下	KK24-017号	

★印のケーブル:0.3mm²×3芯以下1本

☆印のケーブル:VCTF 0.5mm²×6芯以下は1本以下、シースなし信号線0.2mm²以下は3本以下

標準施工図



ALC・コンクリート施工方法(円形開口部の例)

1 準備

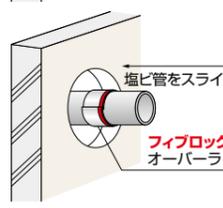
管が貫通する位置に開口部を設置します。



2 施工

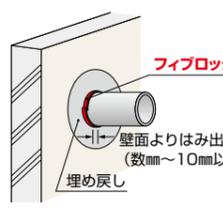
管の区画貫通部分をファイブロックで一巻いてください。

※設置が確認できるように壁面からファイブロックを数mm~10mm以下出して施工してください。



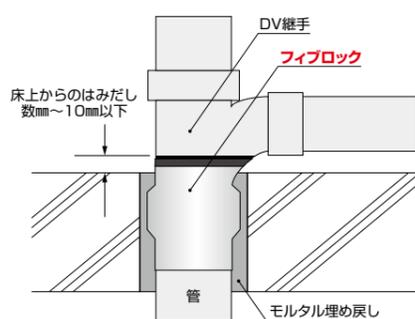
3 開口部の埋め戻し

管を所定の位置にスライドさせ開口部をモルタルで埋め戻します。

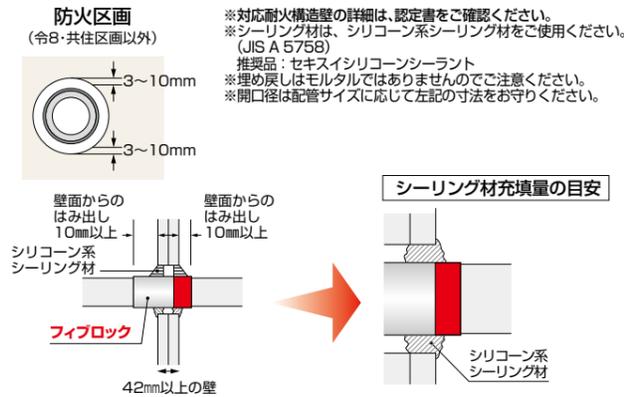


ALC・コンクリート施工完成図(VP管+DV継手の例)

床貫通の場合

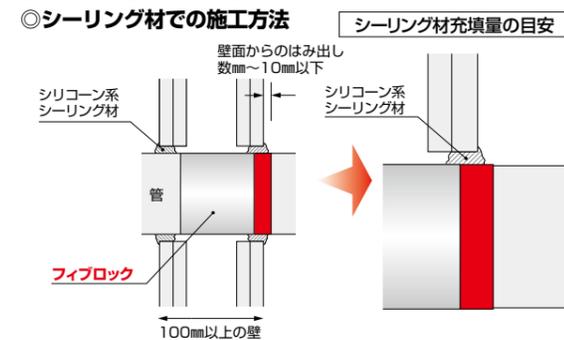


片壁施工図(ACドレンのみ) ※国土交通大臣認定のみ



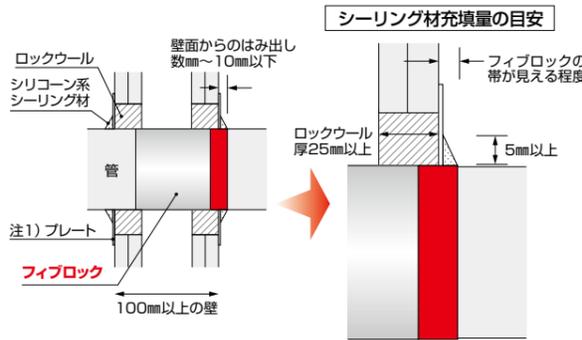
※片壁での使用の場合はファイブロックが壁の両側に10mm以上出ていることを確認してください。

中空壁施工図 ※国土交通大臣認定のみ



※設置が確認できるように壁面からファイブロックを数mm~10mm出して施工してください。
 ※シーリング材のみで施工する場合は開口径が塩ビ管とのすき間を10mm以下としてください。それ以上の場合はロックウールと併用してください。
 ※貫通する管径により埋め戻しに使用する材料が異なります。詳細はP.8の「認定・評定一覧」及び「認定書・評定書」をご確認ください。

◎シーリング材とロックウール併用の施工方法 (VP管のみ)



※設置が確認できるように壁面からファイブロックを数mm~10mm出して施工してください。
 ※ファイブロックは壁のどちら側にはみだしてもかまいません。
 ※硬質塩ビ管に悪影響を及ぼす可塑性材や有機溶剤を含むポリウレタン系シーリング材は使用しないでください。
 ※シーリング材は、シリコン系シーリング材をご使用ください。(JIS A 5758) 推奨品：セキスイシリコンシーラント
 ※埋め戻しはモルタルではありませんのでご注意ください。

注1) 推奨プレート
 塩化ビニル系樹脂(ファイブロック用塩ビ化粧プレート)
 ファibrolock用塩ビ化粧プレートが必要な場合は、下記メーカーへお問い合わせください。

社名	品名	納入ロット	お問い合わせ先
株式会社アカギ	ファイブロック用塩ビ化粧プレート	10枚以上	03-3552-7121

納品には1週間程度かかる場合がありますのでお早目にお問い合わせください。

壁 ●用途 / 給水管、給湯管、排水管、冷温水管、空調用ドレン排水管、高温排水管

壁 / 丸 穴

ALC・コンクリート(厚75mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	開口寸法(参考ポイド径)	国土交通大臣認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号	
				共用区画	令8区画
硬質ポリ塩化ビニル管(VP管+HI管)(JIS K 6741, 6742)	100A	φ158mm以下(150以下)	PS060WL-0063	KK19-117号	
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RFVP管)(JIS K 9798)			PS060WL-0064		
耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(HT管)(JIS K 6776)*			PS060WL-0512	KK22-018号	
空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレン管)			PS060WL-1073		
空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレン管)	65A	φ160mm以下	PS060WL-1073		

※耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(HT管)の呼び径65以上はメーカー規格品の寸法です。

コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	開口寸法(参考ポイド径)	国土交通大臣認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号	
				共用区画	令8区画
硬質ポリ塩化ビニル管(VP管+HI管)(JIS K 6741, 6742)	150A	φ210mm以下(200以下)	PS060WL-0069	KK19-119号	RK19-023号
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RFVP管)(JIS K 9798)	100A	φ158mm以下(150以下)	PS060WL-0063	KK19-117号	
空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレン管)	50A	φ107mm以下(100以下)	PS060WL-1073	KK19-111号	
金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)	65A		PS060WL-0068	KK19-119号	

中空壁 / 丸 穴

中空壁(厚100mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	貫通開口寸法(管外径+20mm以下)	国土交通大臣認定番号	貫通部埋め戻し方法
硬質ポリ塩化ビニル管(VP管+HI管)(JIS K 6741, 6742)	100A	φ125mm以下	PS060WL-1202	シーリング材※
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RFVP管)(JIS K 9798)	100A	φ170mm以下	PS060WL-1203	ロックウール+プレート+シーリング材※
空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレン管)	65A	φ110mm以下	PS060WL-1071	シリコン系シーリング材※

※推奨商品：積水フーラー社製セキスイシリコンシーラント

片 壁 / 丸 穴

片壁(厚42mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	貫通開口寸法(管外径+20mm以下)	国土交通大臣認定番号	貫通部埋め戻し方法
空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレン管)	65A	φ110mm以下	PS060WL-1072-1	シリコン系シーリング材※

※推奨商品：積水フーラー社製セキスイシリコンシーラント

床 ●用途 / 給水管、給湯管、排水管、冷温水管、空調用ドレン排水管、高温排水管

床 / 丸 穴

ALC・コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	開口寸法(参考ポイド径)	国土交通大臣認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号	
				共用区画	令8区画
硬質ポリ塩化ビニル管(VP管+HI管)(JIS K 6741, 6742)	125A	φ182mm以下(175以下)	PS060FL-0070	KK19-116号	
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RFVP管)(JIS K 9798)	100A	φ158mm以下(150以下)	PS060FL-0072		
硬質ポリ塩化ビニル管継手(JIS K 6739)+VP管	125A	φ182mm以下(175以下)	PS060FL-0329		
硬質ポリ塩化ビニル管継手(JIS K 6739)+RFVP管			PS060FL-0071		
硬質ポリ塩化ビニル管(VP管)+保温材(保温厚10mm以下)	50A	φ150mm以下	PS060FL-0484		
耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(HT管)(JIS K 6776)*1*2	100A	φ210mm以下	PS060FL-0349	KK19-151号	
空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレン管)	65A	φ160mm以下	PS060FL-1070		

※1. 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(HT管)の呼び径65以上はメーカー規格品の寸法です。

※2. 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(HT管)は、高温排水の立て管としてご使用ください。

コンクリート(厚150mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	開口寸法(参考ポイド径)	国土交通大臣認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号	
				共用区画	令8区画
硬質ポリ塩化ビニル管(VP管+HI管)(JIS K 6741, 6742)	125A	φ182mm以下(175以下)	PS060FL-0070	KK19-116号	RK19-037号
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RFVP管)(JIS K 9798)*1	100A	φ158mm以下(150以下)	PS060FL-0013	KK19-114号	
硬質ポリ塩化ビニル管継手(JIS K 6739)+VP管	125A	φ182mm以下(175以下)	PS060FL-0329	KK19-116号	RK19-037号
硬質ポリ塩化ビニル管継手(JIS K 6739)+RFVP管			PS060FL-0071		
空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレン管)	50A	φ107mm以下(100以下)	PS060FL-0015	KK19-114号	
金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)*2	40A		PS060FL-0107	KK19-121号	RK19-037号

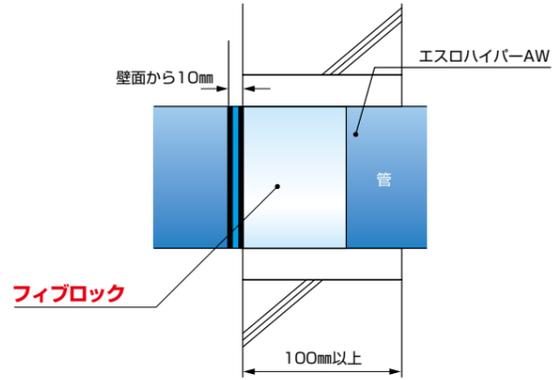
※1, 2. 令8区画を貫通する場合の最大呼び径は、RFVP管が100A、スーパーエスロメタックスが40A、ACドレンパイプは50Aとなります。

標準施工方法(ALC・コンクリート壁の場合)

対象品種：呼び径20～75用、呼び径100以下用

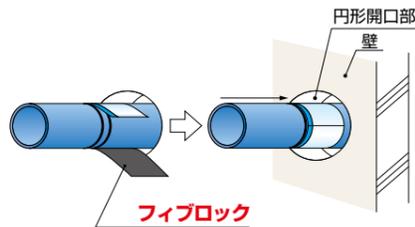
1 準備

- 現場にて採寸し、配管後に管の壁面と壁面から10mmに位置する部分の2カ所に印をつけます。
(この位置にテープを巻き付けます。)



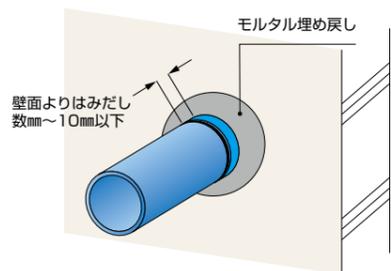
2 施工

- 管の外周長プラス10mm程度の長さでテープをカットします。
- 青帯部分が施工後確認できるよう印部分にテープを巻き付けます。
※テープの端が2本線の間にくるように巻き付けてください。
※ファイブロックは壁のどちら側にはみだしてもかまいません。



3 開口部の埋め戻し

- 開口部をモルタルで埋め戻します。

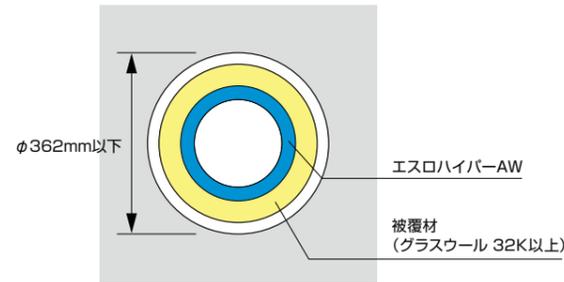


※ファイブロックが壁面から数mm～10mm以下でていることを確認してください。

対象品種：呼び径200以下用

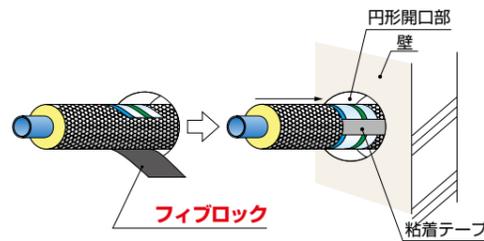
1 準備

- エスロハイパーAWおよび被覆材が貫通する場所に開口部(φ362mm以下)を設けます。



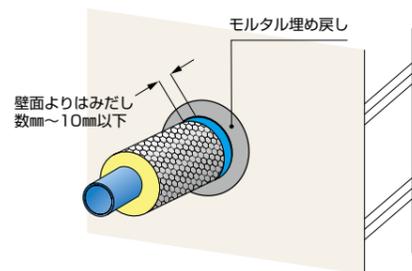
2 施工

- 管外面に被覆材(グラスウール 32K以上)を巻き付けます。その上からアルミニウムはく張クラフト紙を、更にその上から亀甲金網を巻きグラスウールを固定します。
- 管の被覆材の上から1周巻き付けるのに可能な長さにファイブロックをカットします。
- ファイブロックを巻き付け、粘着テープで固定します。
※ファイブロックは壁のどちら側にはみだしてもかまいません。



3 開口部の埋め戻し

- 開口部をモルタルで埋め戻します。



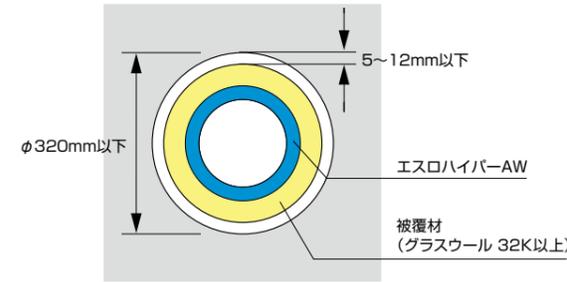
※ファイブロックが壁面から数mm～10mm以下でていることを確認してください。

標準施工方法(中空壁の場合)

対象品種：呼び径200以下用

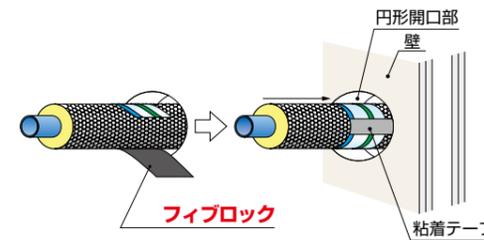
1 準備

- エスロハイパーAWおよび被覆材が貫通する場所に開口部(φ320mm以下)を設けます。



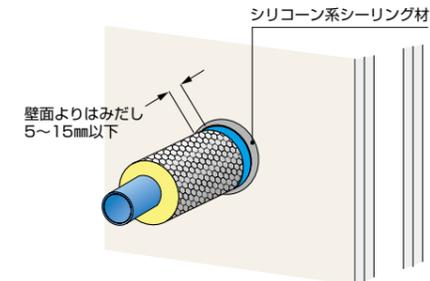
2 施工

- 管外面に被覆材(グラスウール 32K以上)を巻き付けます。その上からアルミニウムはく張クラフト紙を、更にその上から亀甲金網を巻きグラスウールを固定します。
- 管の被覆材の上から1周巻き付けるのに可能な長さにファイブロックをカットします。
- 青帯部分が施工後確認できるようにファイブロックを巻き付け、粘着テープで固定します。
- 青帯が壁面から5mm～15mm以下のはみ出し量となるようにファイブロックを設置します。
※ファイブロックは壁のどちら側にはみだしてもかまいません。



3 開口部の埋め戻し

- 壁の両側の開口部をシリコン系シーリング材で充填します。
推奨品：セキスイシリコンシーラント



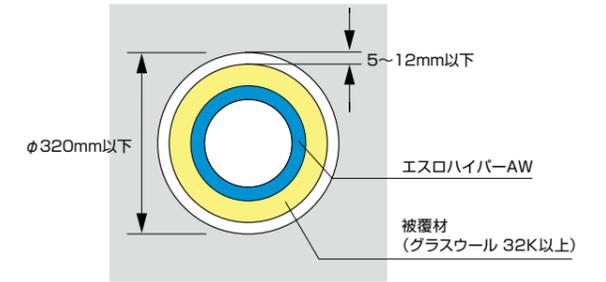
※ファイブロックが壁面から5mm～15mm以下でていることを確認してください。

標準施工方法(片壁の場合)

対象品種：呼び径200以下用

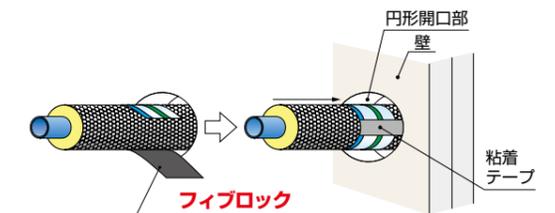
1 準備

- エスロハイパーAWおよび被覆材が貫通する場所に開口部(φ320mm以下)を設けます。



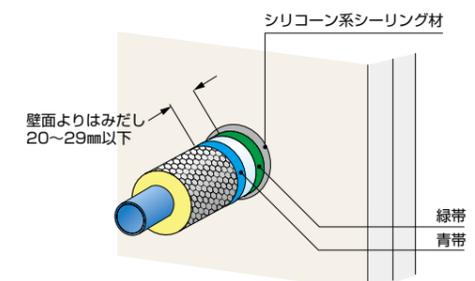
2 施工

- 管外面に被覆材(グラスウール 32K以上)を巻き付けます。その上からアルミニウムはく張クラフト紙を、更にその上から亀甲金網を巻きグラスウールを固定します。
- 管の被覆材の上から1周巻き付けるのに可能な長さにファイブロックをカットします。
- 緑帯部分が施工後確認できるようにファイブロックを巻き付け、粘着テープで固定します。
- 緑帯のある側が壁面から20mm～29mm以下のはみ出し量となるようにファイブロックを設置します。
※ファイブロックは壁のどちら側にはみだしてもかまいません。



3 開口部の埋め戻し

- 壁の両側の開口部をシリコン系シーリング材で充填します。
推奨品：セキスイシリコンシーラント



※ファイブロックの緑帯がある側が壁面から20mm～29mm以下でていることを確認してください。

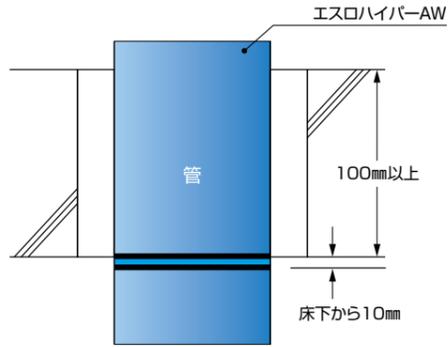
標準施工方法 (床貫通の場合)

ファイブロックが床下側にはみ出す場合

対象品種：呼び径20～75用、呼び径100以下用

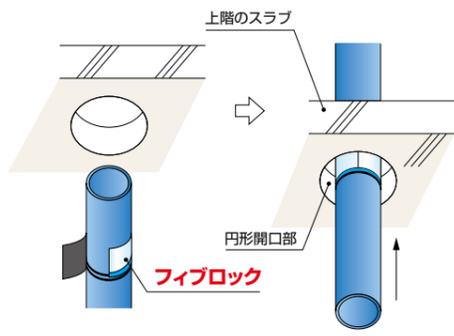
1 準備

- 現場にて採寸し、配管後に管の床下面と床下面から10mmに位置する部分の2カ所に印をつけます。(この位置にテープを巻き付けます。)



2 施工

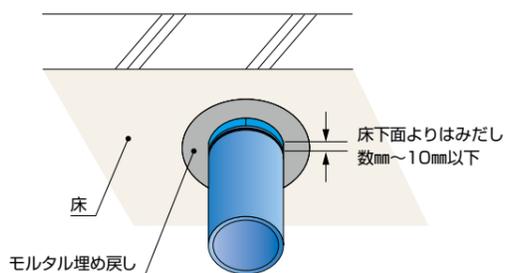
- 管の外周長プラス10mm程度の長さでテープをカットします。
- 青帯部分が施工後確認できるよう印部分にテープを巻き付けます。



※テープの端が2本線の間にくるように巻き付けてください。

3 開口部の埋め戻し

- 開口部をモルタルで埋め戻します。



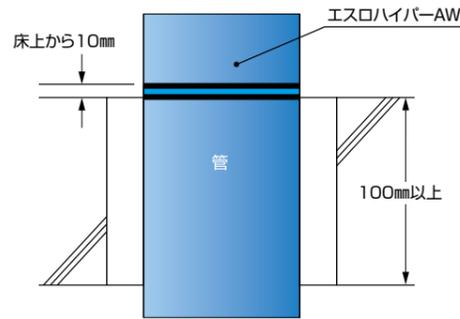
※ファイブロックが床下面から数mm～10mm以下でていることを確認してください。

ファイブロックが床上側にはみ出す場合

対象品種：呼び径20～75用、呼び径100以下用、呼び径200以下用
※呼び径200以下用は床上側のみ出しのみ使用可能

1 準備

- 現場にて採寸し、配管後に管の床上面と床上面から10mmに位置する部分の2カ所に印をつけます。(この位置にテープを巻き付けます。)



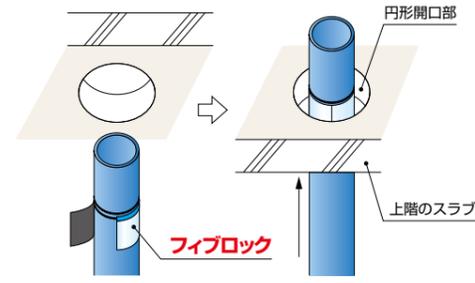
2 施工

■呼び径20～75用、呼び径100以下用で施工の場合

- 管の外周長プラス10mm程度の長さでテープをカットします。
- 青帯部分が施工後確認できるよう印部分にテープを巻き付けます。

■呼び径200以下用で施工の場合

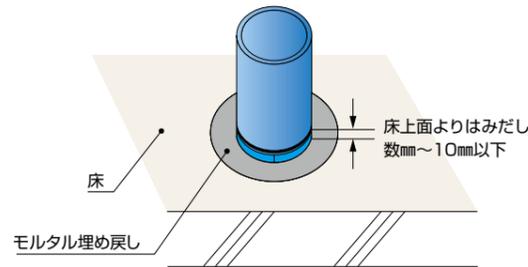
- 管の上から2周以上巻き付けるのに可能な長さでテープをカットします。
- 青帯部分が施工後確認できるよう2周以上巻き付け、印部分で粘着テープで固定します。



※テープの端が2本線の間にくるように巻き付けてください。

3 開口部の埋め戻し

- 開口部をモルタルで埋め戻します。



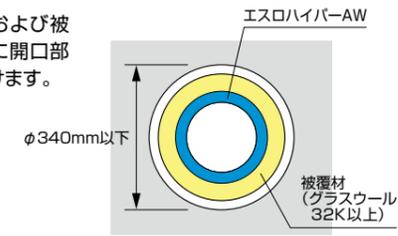
※ファイブロックが床上面から数mm～10mm以下でていることを確認してください。

標準施工方法 (被覆材巻による床貫通の場合)

対象品種：呼び径200以下用

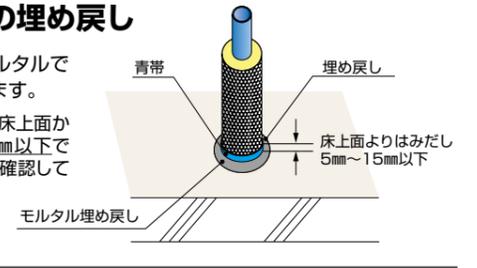
1 準備

- エスロハイパーAWおよび被覆材が貫通する場所に開口部(φ340mm以下)を設けます。



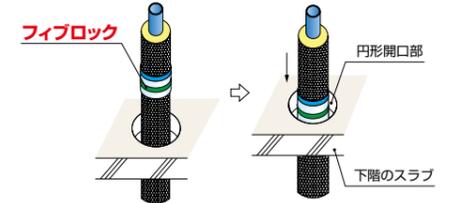
3 開口部の埋め戻し

- 開口部をモルタルで埋め戻します。
- ※ファイブロックが床上面から5mm～15mm以下でていることを確認してください。



2 施工

- 管外面に被覆材(グラスウール 32K以上)を巻き付けます。その上からアルミニウムはく張クラフト紙を、更にその上から亀甲金網を巻きグラスウールを固定します。
- 管の被覆材の上から1周巻き付けるのに可能な長さにファイブロックをカットします。
- 青帯部分が施工後確認できるようにファイブロックを巻き付け、粘着テープで固定します。
- 青帯が床面から5mm～15mm以下のはみ出し量となるようにファイブロックを設置します。



壁

ALC・コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種	開口寸法 (参考ボイド径)	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター 性能評価番号	
			共住区画	
給水用高密度ポリエチレン管(エスロハイパー AW)	呼び径20～75用	φ133mm以下(125以下)	PS060WL-0194	KK19-105号
	呼び径100以下用	φ182mm以下(175以下)	PS060WL-0476	KK21-011号
給水用高密度ポリエチレン管(エスロハイパーAW)+被覆材*1	呼び径200以下用	φ362mm以下(350以下)	PS060WL-0935	
サイフォン式雨水排水システム用高性能ポリエチレン管(雨水ハイパーRD)+被覆材*1				
ポリエチレン管*2	呼び径75以下	φ160mm以下(150以下)	PS060WL-1165	

※1. 呼び径200以下用の場合、管外面には被覆材(グラスウール32K以上 厚さ40mm以下)を使用。

※2. ポリエチレン管対象規格：JWWA K 144, PWA001, PWA005, PWA011 (SDR11 (外径÷肉厚=11)規格品に限る)、PTCK03, JPK001, JIS K 6762

◎令8区画には使用できません。

中空壁(厚100mm以上)

貫通配管種	貫通開口寸法(外径+24mm以下)	国土交通大臣認定番号
給水用高密度ポリエチレン管(エスロハイパーAW・雨水ハイパーRD)+被覆材*	呼び径200以下用	φ320mm以下
サイフォン式雨水排水システム用高性能ポリエチレン管(雨水ハイパーRD)+被覆材*		

※管外面には被覆材(グラスウール 32K以上、厚さ40mm以下)を使用。

片壁(厚42mm以上)

貫通配管種	貫通開口寸法(外径+24mm以下)	国土交通大臣認定番号
給水用高密度ポリエチレン管(エスロハイパーAW・雨水ハイパーRD)+被覆材*	呼び径200以下用	φ320mm以下
サイフォン式雨水排水システム用高性能ポリエチレン管(雨水ハイパーRD)+被覆材*		

※管外面には被覆材(グラスウール 32K以上、厚さ40mm以下)を使用。

床

ALC・コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種	開口寸法 (参考ボイド径)	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター 性能評価番号	
			共住区画	
給水用高密度ポリエチレン管(エスロハイパー AW)	呼び径20～75用*1	φ133mm以下(125以下)	PS060FL-0195	KK19-104号
	呼び径100以下用	φ182mm以下(175以下)	PS060FL-0475	KK21-010号
	呼び径200以下用*2*3	φ311mm以下(300以下)	PS060FL-0720	
給水用高密度ポリエチレン管(エスロハイパーAW)+被覆材*4	呼び径200以下用*2	φ340mm以下	PS060FL-0960	
サイフォン式雨水排水システム用高性能ポリエチレン管(雨水ハイパー RD)				
サイフォン式雨水排水システム用高性能ポリエチレン管(雨水ハイパー RD)+被覆材*4	呼び径200以下用*2*3	φ311mm以下(300以下)	PS060FL-0720	
ポリエチレン管*5	呼び径200以下用*2	φ340mm以下	PS060FL-0960	
	呼び径75以下	φ160mm以下	PS060FL-1164	

※1. コンクリートの場合、呼び径20～75用は国土交通大臣認定のみ厚70mm以上で使用可能。

※2. 呼び径200以下用は床上側のみ出しのみ使用可能。

※3. 呼び径200以下用の場合、管のみで貫通する場合はファイブロックを2周以上巻く。

※4. 呼び径200以下用の場合、管外面に被覆材を使用する場合はグラスウール32K以上 厚さ40mm以下を使用。

※5. ポリエチレン管対象規格：JWWA K 144, PWA001, PWA005, PWA011 (SDR11 (外径÷肉厚=11)規格品に限る)、PTCK03, JPK001, JIS K 6762

◎令8区画には使用できません。

コンクリート(厚200mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	開口寸法(参考ボイド径)	国土交通大臣認定番号
硬質ポリ塩化ビニル管(VP管)	200A (2周以上巻)	φ311mm以下 (300以下)	PS060FL-0830
耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP管)			
耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(HT管)			

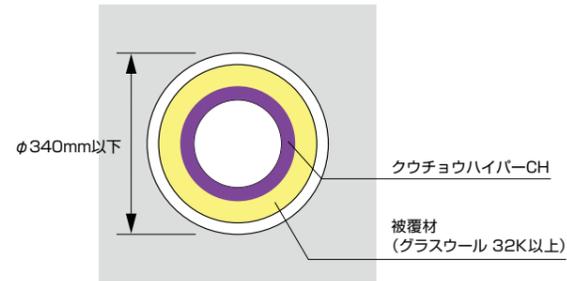
◎ファイブロックを2周以上巻きます。

※クウチョウハイパーCHには、エスロハイパーAW用の呼び径200以下用をご使用ください。

標準施工方法(ALC・コンクリート壁の場合)

1 準備

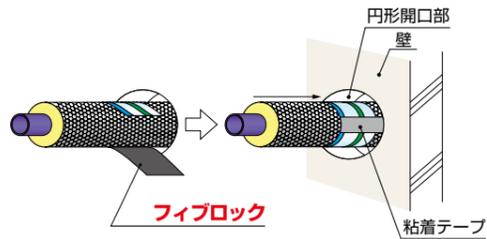
- クウチョウハイパーCHおよび被覆材が貫通する場所に開口部(φ340mm以下)を設けます。



2 施工

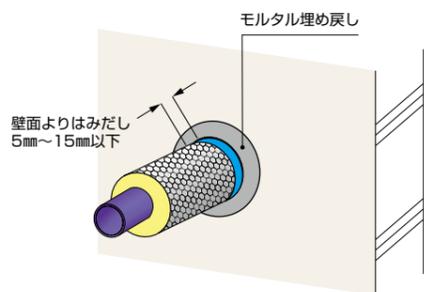
- 管外面に被覆材(グラスウール 32K以上)を巻き付けます。その上からポリエチレンフィルム・アルミニウムはく張クラフト紙を、更にその上から亀甲金網を巻きグラスウールを固定します。
- 管の被覆材の上から1周巻き付けるのに可能な長さにフィブロックをカットします。
- 青帯部分が施工後確認できるようにフィブロックを巻き付け、粘着テープで固定します。
- 青帯が壁面から5mm以上15mm以下のはみ出し量となるようにフィブロックを設置します。

※フィブロックは壁のどちら側にはみだしてもかまいません。



3 開口部の埋め戻し

- 開口部をモルタルで埋め戻します。

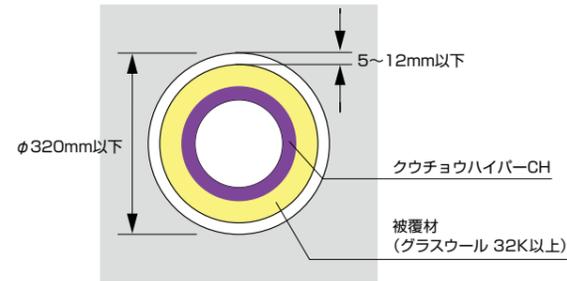


※フィブロックが壁面から5mm~15mm以下でていることを確認してください。

標準施工方法(中空壁の場合)

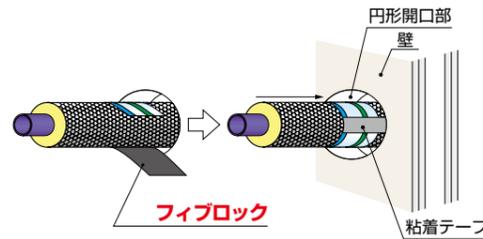
1 準備

- クウチョウハイパーCHおよび被覆材が貫通する場所に開口部(φ320mm以下)を設けます。



2 施工

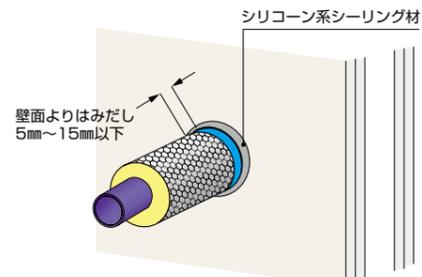
- 管外面に被覆材(グラスウール 32K以上)を巻き付けます。その上からポリエチレンフィルム・アルミニウムはく張クラフト紙を、更にその上から亀甲金網を巻きグラスウールを固定します。
- 管の被覆材の上から1周巻き付けるのに可能な長さにフィブロックをカットします。
- 青帯部分が施工後確認できるようにフィブロックを巻き付け、粘着テープで固定します。
- 青帯が壁面から5mm以上15mm以下のはみ出し量となるようにフィブロックを設置します。



3 開口部の埋め戻し

- 壁の両側の開口部をシリコン系シーリング材で充填します。

推奨品：
セキスイシリコンシーラント

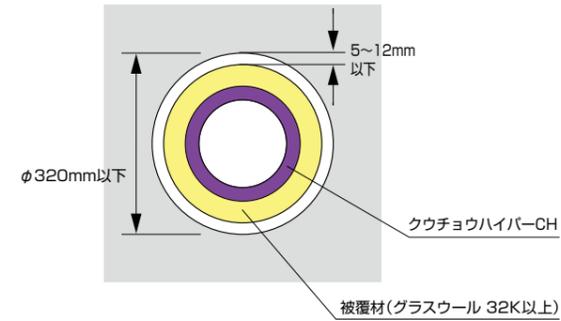


※フィブロックが壁面から5mm~15mm以下でていることを確認してください。

標準施工方法(片壁の場合)

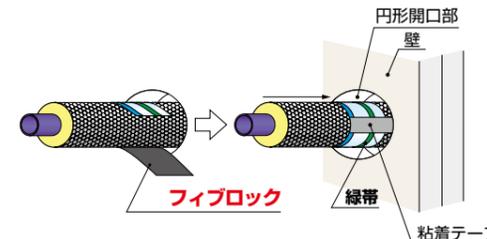
1 準備

- クウチョウハイパーCHおよび被覆材が貫通する場所に開口部(φ320mm以下)を設けます。



2 施工

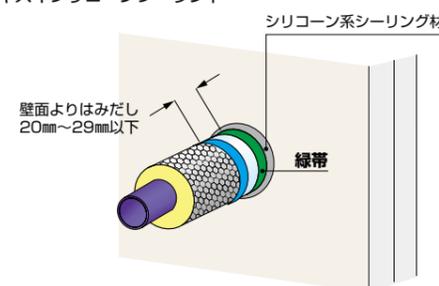
- 管外面に被覆材(グラスウール 32K以上)を巻き付けます。その上からポリエチレンフィルム・アルミニウムはく張クラフト紙を、更にその上から亀甲金網を巻きグラスウールを固定します。
- 管の被覆材の上から1周巻き付けるのに可能な長さにフィブロックをカットします。
- 緑帯部分が施工後確認できるようにフィブロックを巻き付け、粘着テープで固定します。
- 緑帯がある側が壁面から20mm~29mm以下のはみ出し量となるようにフィブロックを設置します。



3 開口部の埋め戻し

- 壁の両側の開口部をシリコン系シーリング材で充填します。

推奨品：
セキスイシリコンシーラント

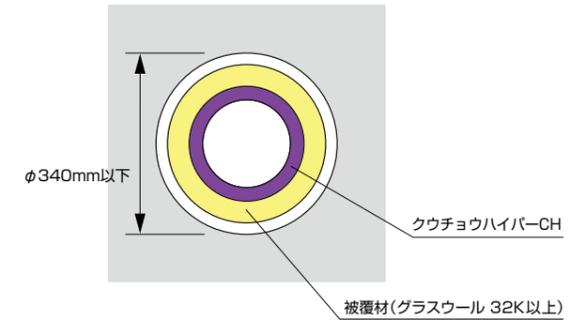


※フィブロックの緑帯がある側が壁面から20mm~29mm以下でていることを確認してください。

標準施工方法(床貫通の場合)

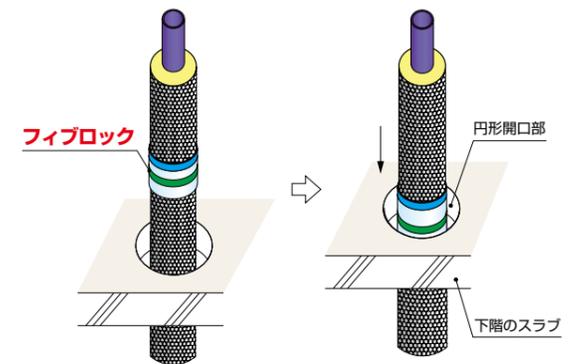
1 準備

- クウチョウハイパーCHおよび被覆材が貫通する場所に開口部(φ340mm以下)を設けます。



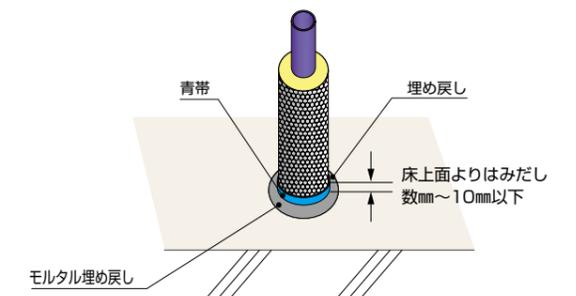
2 施工

- 管外面に被覆材(グラスウール 32K以上)を巻き付けます。その上からポリエチレンフィルム・アルミニウムはく張クラフト紙を、更にその上から亀甲金網を巻きグラスウールを固定します。
- 管の被覆材の上から1周巻き付けるのに可能な長さにフィブロックをカットします。
- 青帯部分が施工後確認できるようにフィブロックを巻き付け、粘着テープで固定します。
- 青帯が床面から数mm~10mm以下のはみ出し量となるようにフィブロックを設置します。



3 開口部の埋め戻し

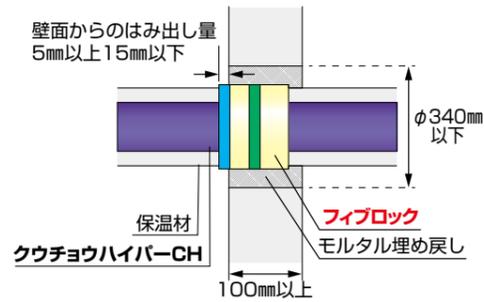
- 開口部をモルタルで埋め戻します。



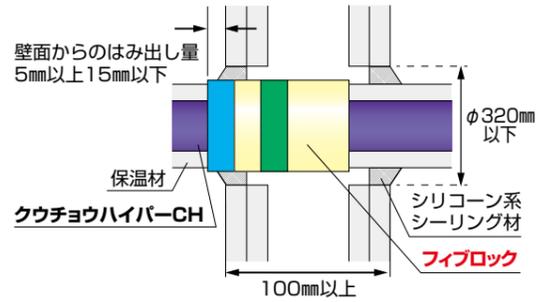
※フィブロックが床上面から数mm~10mm以下でていることを確認してください。

施工完成図

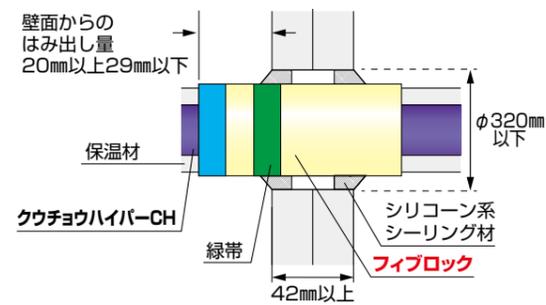
●ALC・コンクリート壁の場合



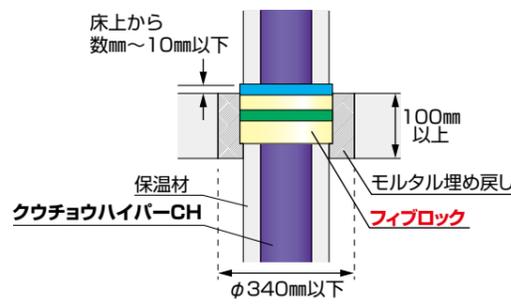
●中空壁の場合



●片壁の場合



●床貫通の場合



[認定・評価一覧 空調 クウチョウハイパーCH]

※クウチョウハイパーCHには、エスロハイパーAW用の呼び径200以下用をご使用ください。

壁

ALC・コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種	開口寸法	国土交通大臣認定番号
空調配管用高性能ポリエチレン管 (クウチョウハイパーCH)	呼び径200以下用	φ340mm以下
		PS060WL-0794

◎管外面には被覆材(グラスウール32K以上、厚さ40mm以下)を使用。

中空壁(厚100mm以上)

貫通配管種	貫通開口寸法(外径+24mm以下)	国土交通大臣認定番号
空調配管用高性能ポリエチレン管 (クウチョウハイパーCH)	呼び径200以下用	φ320mm以下
		PS060WL-0795

◎管外面には被覆材(グラスウール32K以上、厚さ40mm以下)を使用。

片壁(厚42mm以上)

貫通配管種	貫通開口寸法(外径+24mm以下)	国土交通大臣認定番号
空調配管用高性能ポリエチレン管 (クウチョウハイパーCH)	呼び径200以下用	φ320mm以下
		PS060WL-0793-1

◎管外面には被覆材(グラスウール32K以上、厚さ40mm以下)を使用。

床

ALC・コンクリート(厚100mm以上)

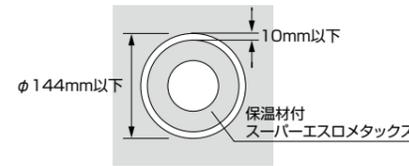
貫通配管種	開口寸法	国土交通大臣認定番号
空調配管用高性能ポリエチレン管 (クウチョウハイパーCH)	呼び径200以下用	φ340mm以下
		PS060FL-0796

◎管外面には被覆材(グラスウール32K以上、厚さ40mm以下)を使用。

標準施工方法 保温厚30mm以下(中空壁の場合)

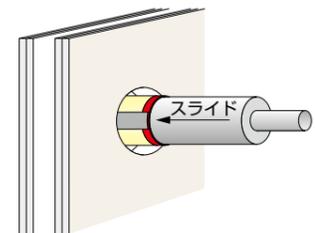
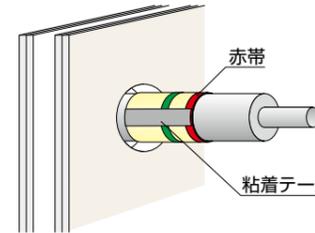
1 準備

- 保温材付スーパーエスロメタックスが貫通する場所に開口部(φ144mm以下)を設けます。



2 施工

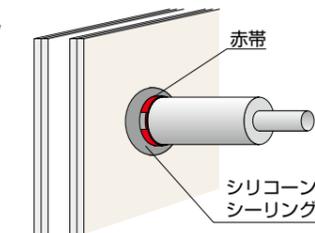
- 保温材付スーパーエスロメタックスの上から一周巻きつけるのに可能な長さにテープをカットします。
- 赤帯部分が施工後確認できるように、ファイブロックを管に巻きつけ、粘着テープで固定します。(ファイブロックは突き付け・オーバーラップのどちらでも可能です)
- 赤帯が壁面から数mm~10mm以下のはみ出し量となるように、ファイブロックをスライドさせてください。



3 開口部の埋め戻し

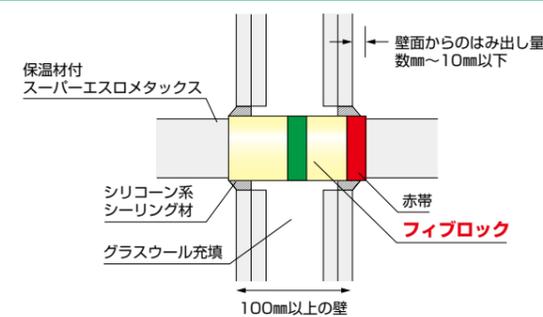
- 管と開口部の両側の隙間をシリコン系シーリング材で充填します。

推奨品：
セキスイシリコンシーラント



※ファイブロックの赤帯部分が壁から数mm~10mm以下でいることを確認してください。

施工完成図

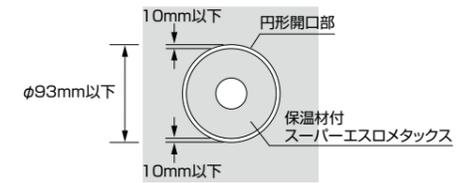


※壁厚110mm以上を使用する場合は、壁の開口部両側に赤帯が出るようにファイブロック2枚をオーバーラップさせて巻きつけてください。オーバーラップ出来ない場合は、壁の内部でファイブロック2枚を突き合わせ、壁の両側のファイブロックの突出し量が等しくなるように施工してください。

標準施工方法 保温厚20mm以下(中空壁の場合)

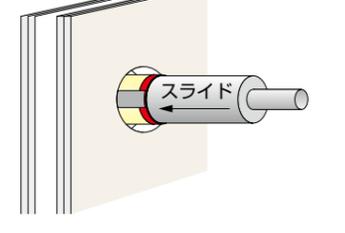
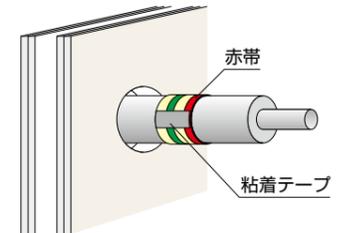
1 準備

- 保温材付スーパーエスロメタックスが貫通する場所に開口部(φ93mm以下)を設けます。



2 施工

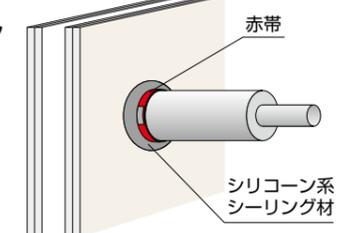
- 保温材付スーパーエスロメタックスの上から一周巻きつけるのに可能な長さにテープをカットします。
- 赤帯部分が施工後確認できるように、ファイブロックを管に巻きつけ、粘着テープで固定します。(ファイブロックは突き付け・オーバーラップのどちらでも可能です)
- 赤帯が壁面から数mm~20mm以下のはみ出し量となるように、ファイブロックをスライドさせてください。



3 開口部の埋め戻し

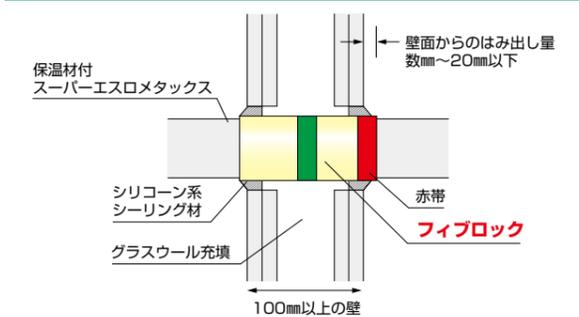
- 管と開口部の両側の隙間をシリコン系シーリング材で充填します。

推奨品：
セキスイシリコンシーラント



※ファイブロックの赤帯部分が壁から数mm~20mm以下でいることを確認してください。

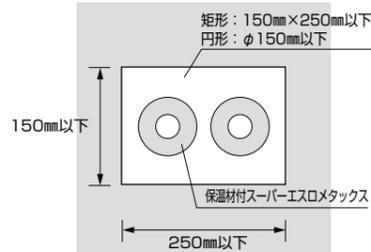
施工完成図



標準施工方法 保温厚20mm以下(ALC・コンクリート壁の場合)

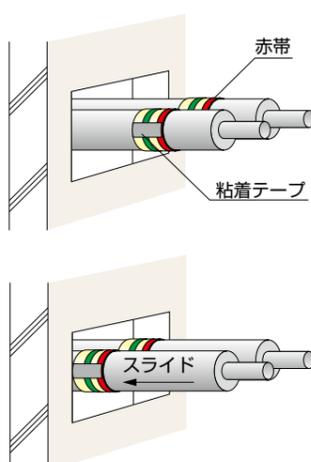
1 準備

- 保温材付スーパーエスロメタックスが貫通する場所に開口部(矩形:150mm×250mm以下、円形:φ150mm以下)を設けます。



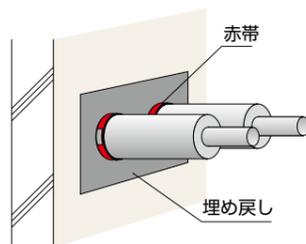
2 施工

- 保温材付スーパーエスロメタックスの上から一周巻きつけるのに可能な長さにテープをカットします。
- 赤帯部分が施工後確認できるように、ファイブロックを管に巻きつけ、粘着テープで固定します。(ファイブロックは突き付け・オーバーラップのどちらでも可能です)
- 赤帯が壁面から数mm～20mm以下のはみ出し量となるように、ファイブロックをスライドさせてください。



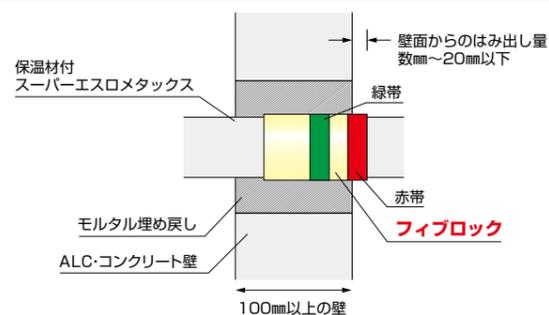
3 開口部の埋め戻し

- 管と開口部の隙間をモルタルで充填します。



※ファイブロックの赤帯部分が壁から数mm～20mm以下でていることを確認してください。

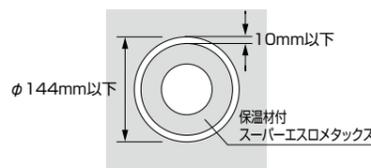
施工完成図



標準施工方法 保温厚30mm以下(片壁の場合)

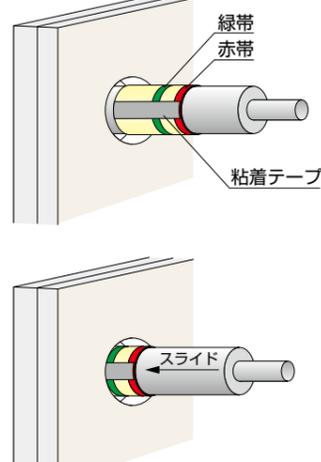
1 準備

- 保温材付スーパーエスロメタックスが貫通する場所に開口部(φ144mm以下)を設けます。



2 施工

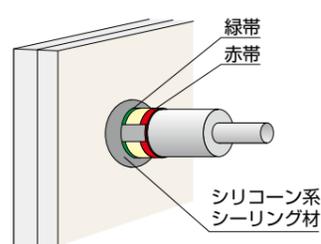
- 保温材付スーパーエスロメタックスの上から一周巻きつけるのに可能な長さにテープをカットします。
- 緑帯部分が施工後確認できるように、ファイブロックを管に巻きつけ、粘着テープで固定します。(ファイブロックは突き付け・オーバーラップのどちらでも可能です)
- 緑帯がある側が壁面から35mm～40mm以下のはみ出し量となるように、ファイブロックをスライドさせてください。



3 開口部の埋め戻し

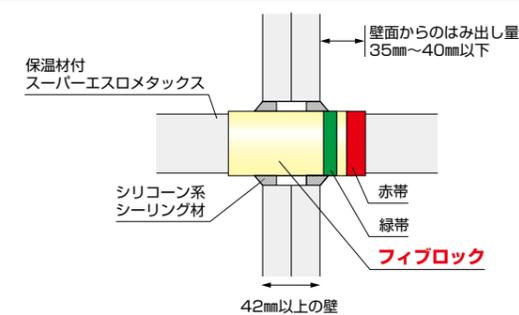
- 壁の両側の開口部をシリコン系シーリング材で充填します。

推奨品：
セキスイシリコンシーラント



※ファイブロックの緑帯がある側が壁から35mm～40mm以下でていることを確認してください。

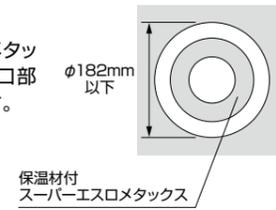
施工完成図



標準施工方法(ALC・コンクリート床の場合)

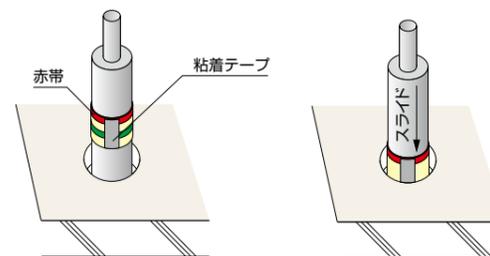
1 準備

- 保温材付スーパーエスロメタックスが貫通する場所に開口部(φ182mm以下)を設けます。



2 施工

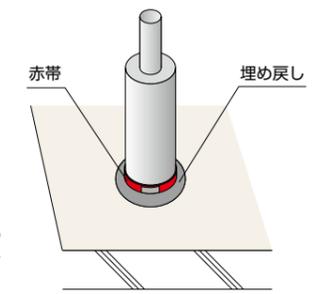
- 保温材付スーパーエスロメタックスの上から一周巻きつけるのに可能な長さにテープをカットします。
- 赤帯部分が施工後確認できるように、ファイブロックを管に巻きつけ、粘着テープで固定します。(ファイブロックは突き付け・オーバーラップのどちらでも可能です)
- 赤帯が床から数mm～10mm以下のはみ出し量となるように、ファイブロックをスライドさせてください。



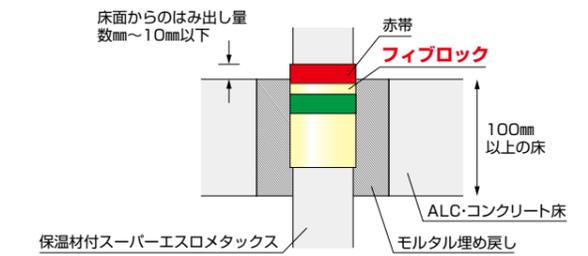
3 開口部の埋め戻し

- 管と開口部の隙間をモルタルで充填します。

※ファイブロックの赤帯部分が床から数mm～10mm以下でていることを確認してください。



施工完成図



[認定・評価一覧]

壁

ALC・コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	開口寸法(参考ボイド径)	国土交通大臣認定番号	(一財)日本消防設備安全センター 性能評価番号
				共住区画
被覆金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックスFC)	保温厚30mm以下	50A	φ208mm以下(200以下)	PS060WL-0715
	保温厚20mm以下	25A		PS060WL-0373

中空壁(厚100mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	貫通開口寸法(外径+20mm以下)	国土交通大臣認定番号	
被覆金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックスFC)	保温厚30mm以下*1	50A	φ144mm以下	PS060WL-0719
	保温厚20mm以下*2	25A	φ93mm以下	PS060WL-0409

*1.保温厚30mm以下について:壁厚110mm以上に使用する場合の施工方法につきましては、P.16標準施工例をご参照ください。

*2.保温厚20mm以下について:共住区画の場合 両面強化石膏ボード重張軽量鉄骨下地+グラスウール充填。

片壁(厚42mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	貫通開口寸法(外径+20mm以下)	国土交通大臣認定番号	
被覆金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックスFC)	保温厚30mm以下	50A	φ144mm以下	PS060WL-0698-1

床

ALC・コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	開口寸法(参考ボイド径)	国土交通大臣認定番号	
被覆金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックスFC)	保温厚30mm以下	50A	φ182mm以下(175以下)	PS060FL-0714